

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年8月25日 (2016.8.25)

【公表番号】特表2014-510067(P2014-510067A)

【公表日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-021

【出願番号】特願2013-555797(P2013-555797)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/167

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月4日 (2016.7.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 4 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 2 4 7 】

【表 1 3】

表 1 2 : カンジダ・アルビカンスの微生物増殖

微生物カウント	プラセボ p H 8	タペントドール p H 8	タペントドール p H 3
細菌／真菌のスパイクされた量	2×10^5	1.7×10^5	2.4×10^5
30分	2.5×10^5	$< \times 10^4$	2×10^5
7日	3.4×10^6	$< \times 10^2$	1.3×10^3
14日	試験せず ^a	$< \times 10^2$	1.8×10^3
28日	試験せず ^a	$< \times 10^2$	2.5×10^3
試験基準 A	不合格	合格	不合格
試験基準 B	不合格	合格	不合格

追加の保存剤がない場合、タペントドール溶液 p H 3 は、アスペルギルス・ニガーおよびカンジダ・アルビカンスに関しては欧州薬局方（基準 A および B）に従って十分に保存されないが、タペントドール溶液 p H 8 は、試験を行った全ての細菌および真菌に対して基準 A および B を満たした。プラセボ p H 8 溶液は溶液自体の保存効果を示さないので、タペントドール H C 1 を含む製剤の抗菌効果はタペントドール H C 1 の添加された量の結果である。この結果を考慮すると、タペントドール H C 1 溶液の保存効果の明白な p H 値依存性が示された。